

子どもの意見用アンケート意見対応表（設問内容）

No.	意見元 (委員・学校)	設問	設問番号	該当項目（原文など）	修正案・削除等	事務局対応
1	小学校	A	問3	どのくらい幸せ～	・「幸せ」「不幸」の定義は何なのか不明瞭。 ・時々で気持ちが変わることも多い。	修正なし。 幸せの定義は多様で、感情的・心理学的・社会的・物質的・健康的・自己実現など様々な観点から感じるもので、回答者が考える観点で回答いただければ結構です。
2	小学校	A B C D	問3 問2 問1 問1	・あなたは、今、どのくらい～ ・B以下の質問には時の設定がない。	設問によって、時の設定に差がある。	修正。 A 問3「今」を削除。
3	小学校	A	問5	11.その他（具体的に：　　）	11.どれにもあてはまらない	修正なし。 アンケート集計後、具体事例について、子ども・若者プラン策定に使用します。
4	小学校	A	問5	3.言語や話し方のこと	どのような悩みがこれに当てはまるのか不明確。	修正。 3.使っている言語のこと
5	小学校	A	問6～9	「答えたくない」がない		修正。 それぞれ選択肢「答えたくない」を追加。
6	小学校	A	問10	問3～6で自身の内面について、問7～9スマホについての質問になっている。	問10の内容は、問3～6の内容の延長線上だと思われる所以、問10を問7の位置に変更。	修正。
7	小学校 中学校	A B C D	問8 問8 問4 問4	「言いたいことや思っていること」	・「言いたいことと思っていること」は同様の意味。 ・「伝えたいこと」「思っていること」に修正。 ・削除。 ・不満に思っていることを聞き出すことが前提になっているように感じるので、楽しいと思うことなど前向きな面も入れてはどうか。	修正。 それぞれ「思っていることや伝えたいこと」に修正。設問以外の情報を得ることおよび子どもの意見表明権のため、自由意見は必要と判断。
8	小学校	B	問1	くらしている人を教えてください	複数（例えば弟が二人、親族以外の同居人が複数いるなど）の場合、迷う子どもがいるのでは？複数の場合はどうするか但し書きをつけてはどうか。	修正。 但し書きを追加。
9	小学校	B	問2 問3		家庭が心が落ち着く、安心した居場所になっていない子どももいると思います。これらの質問を目にすることによって、心を痛め、自尊感情を傷つける可能性があると思います。	アンケートを通じて得られるデータは、本市が重要な施策を形成するうえで必要な情報で、より具体的なデータが不可欠です。B問2、3については、ご指摘いただいた点は十分理解していますが、子どもの貧困対策を考えるに必要なデータとなるためご理解ください。

No.	意見元 (委員・学校)	設問	設問番号	該当項目（原文など）	修正案・削除等	事務局対応
10	小学校	B	問3 問4	6. 生活に必要なもの 5. 生活に必要なもの	生活と限定する必要があるのか。	修正。 「生活」を削除。
11	小学校	B	問4	5. お金がなく生活に必要なものを買えない 6. 進学についてお金の心配がある	経済的なしんどさを、アンケートで子ども自身に再認識させる必要があるのでしょうか。 自尊感情を損なう恐れがあるのではないか。	子どもの貧困対策計画も含まれていることをご理解ください。
12	小学校	B C D	問4 問3 問3	あなたが～について、不安や不満を感じていることはありますか。	・あなたが～について、改善したいと思うことは何ですか。 ・不安や悩んでいることはありますか。	修正。 それぞれ「不安に思ったり、改善したいと感じていること」に修正。
13	小学校	C	問1 問2	・あなたは学校生活に満足していますか。 ・あなたがふだんの学校での生活について、満足に感じていることを教えてください。	あなたは、学校生活は楽しいですか。 「満足」→「楽しい」	修正。 問1は修正、問2は選択肢の内容に鑑み、修正せず。
14	小学校	C	問2 問3	「なっとくできる校則である」 「なっとくできない校則がある」 「ランドセルが重い」	・選択肢の内容が断片的で具体的すぎる。 ・強く思っていない子も「そういえばそうかも」と選んでしまう可能性がある。 ・学校の施設設備（トイレ等）に関する選択肢を設けるべきでは。例）校舎やトイレ等が古くて使いにくい。	削除、追加。
15	小学校	C	問2	問3のあとが問2になっている		修正。
16	中学校	C	問2 問3	「授業は」	「学校での学習は」	修正。
17	中学校	C	問3	3. クラブ・部活動が楽しくない 4. 授業や部活での先生の指導 6. 先生との関係 9. 10.	3. 先生との関係（問2と連動させる） 4. クラブ、部活が楽しくない（問2と連動させる） 6. 学校・クラスは安心・安全な場所ではない 9. クラスにいじめなど問題がある 10. は削除 削除（何か別の意図が感じられる）	修正、削除。
18	小学校	C	問4		学校について言いたいこと、思っていることを記入したとして、子どもが特定されたり、学校に知らせてもらえるのでしょうか。子どもはアンケートに学校のことを書けば、学校の先生が見てくれると思うのではないか。命にかかることなどがあれば、知らせてもらえるのでしょうか。	匿名であるため、誰が回答したかは分からな いですが、具体的な名前や学校が記載され、緊急性を感じる内容については教育委員会と情報共有する等の対応をさせていただきます。 無記名アンケートなので、個別案件には対応できることを明示します。

No.	意見元 (委員・学校)	設問	設問番号	該当項目（原文など）	修正案・削除等	事務局対応
19	小学校	C		全体	このアンケートは学校側が対応しなければいけない内容。 削除した方がよい。学校は学校でアンケートを取り、対応しているため。学校に迷惑をかけないと説明されたが、アンケートをする以上、何らかの対応が必要になってくる。その児童の意見についてどうするのか。	アンケートの手法については、教育委員会（教育長含む）と協議済みであることをご理解ください。
20	小学校	D	問1	住んでいる地域	どの範囲を指すのか不明確	日常における子どもそれぞれの行動範囲で考えてもらえれば結構です。
21	小学校	E	問2	お店	その選択肢が必要なのか。アンケートに挙げているということは、その場所もOKであると、アンケートの実施主体が認めているというメッセージにならないか。（もしそれがお店だとしても、他の選択肢に子どもが書いたらいいのではないか）	選択肢にあることで、質問者が認めていると解釈することはできません。
22	小学校	E	問3	「行ったことがある」「行ったことはないが知っている」「知らない」	認知の度合いによって並べてはどうか。	修正。
23	小学校	F	問2	次のことから守られている	次のことが守られている	修正。
24	小学校	F	問2		子どもにしてみたら「あなたは」ではなく「わたしは」ではないのか。	修正。
25	小学校	G		「相談窓口を知っていますか」だけではなく、「悩みや相談事があったら、周りの大人の人や、相談窓口などに相談してほしい」というメッセージもつけたほうがよいのではないか。		アンケートの最後および説明動画にて明示するとともに、相談先一覧を配布します。
26	小学校	H	問12	(家族、友達、学校、勉強など)	ここに行政的なことが例として挙がっていないのはなぜか。 また、「伝えておきたいことなど」と書かれているため、アンケートを回答する子どもたちは、必ずその人等に伝わるととらえていいのか。	子どもにとって、身近な存在のみを記載しました。回答内容は、計画策定および今後の子どもも施策への反映のために活用するものです。
27	中学校	H	問2	最後に、あなたが毎日の生活で感じていることやこまっていること（家族、友だち、学校、勉強のことなど）、おとなや彦根市（市役所）に伝えておきたいことなどがあれば、自由に書いてください。	(追記) ただし、このアンケートは「彦根市子ども・若者プラン」策定のためだけに使用しますので、相談したい場合は学校の先生が次のページの相談窓口等に相談してください。	アンケートの最後に追加。
28	小学校	H	問2	「・・・彦根市（市役所）に伝えておきたいことがあれば・・・」	子供が伝えたことで改善に向けて実際に動いてもらえるのか、ただ単に書くだけで終わってしまうのか。 子供はその時の感情次第で様々な不満等を記述しそう。	子ども達には動画にて事前に説明し、計画策定のためのアンケートであることを理解してもらいます。
29	中学校	H	問2	自死をほのめかす内容や、個人名が書かれるなどが危惧されるため、質問の削除を強く希望する。		削除せず。無記名なので個別対応ができないことは、動画にて明示します。

No.	意見元 (委員・学校)	設問	設問番号	該当項目（原文など）	修正案・削除等	事務局対応
30	小学校	全体		選択肢 答えたくない	選択肢として不要。その他や特にないという選択肢がある。答えたくないと回答した児童になぜか？と問う必要が出てくる。必要ならばそれは誰がするのか？	修正せず。無記名なので個別対応ができないことは、動画にて明示します。
31	小学校	その他		友達の達は4年生で学習する漢字なので、「友達」表記でいいのではないか。また「ひとり」がひらがな表記なのはどうしてか。		「友だち」→「友達」に修正。 「ひとり」はより柔らかい表現にするため、ひらがな表記とします。

子どもの意見用アンケート意見対応表（その他意見）

No.	意見元（委員・学校）	意見内容	事務局対応
1	小学校	学校において、定期的に「いじめアンケート」「学校アンケート」等を実施しています。学校でのアンケートでは、子どもたちがアンケートでSOSを発している場合は、SOSを発した子どもの実態を十分に配慮しながら、聞き取り・カウンセリング等により対応にあたっています。ただ、今回のアンケートでは、誰が回答したか分からることもあり、十分な対応ができないと考えます。以上のような理由から、「C 学校について」の項目は、削除していただきたいと考えます。また、アンケートの実施場所を家庭にしていただければ幸いです。	学校において、定期的にされるアンケートが、実態から即対応することを目的にしているのに対し、本アンケートは、長期的に対応することを目的としているため、回答に応じ対応するものではないことをご理解ください。また、アンケートの手法については、教育委員会（教育長含む）と協議済みであることをご理解ください。
2	小学校	学校について、言いたいことや思っていることを自由に書いたとき、命にかかわる内容等緊急に対応しなければならないようなことがあった場合の対応の仕方が難しいのではないかと思います。また、アンケートを授業の中で実施した場合、子どもたちが「学校で何とかしてもらえる」と思うのではないかでしょうか。家庭で実施した場合の、家庭にかかわる発問の中で不安や不満に感じていることの選択肢で、お金に関することについてはすごく繊細な問題なので、疑問に思う保護者もいるのではないかでしょうか。	匿名であるため、誰が回答したかは分からず、具体的な名前や学校が記載され、緊急に対応を要すると思われる内容が確認できた場合は、すぐに教育委員会と情報共有する等の対応をさせていただきます。なお、内容に対する対応については、申し訳ありませんが、定期的に学校で実施されているアンケートをされるなど、至急対応できる対応を取っていただくようお願いします。 アンケートの内容に関しては、当課で一切の責任を負いますので、子ども達が思い違いのないよう動画において明示します。
3	小学校	アンケートのやり方を説明し、これだけの内容を実施しようと思うと、かなりの時間を要する。また内容的に、自由記述が多く、そこに記入されたものについて、対応できない状況が考えられることを知りながら、学校で実施するということに問題があると思われる。学校で行うアンケートについては、記名し、何か問題があればすぐに担任が対応するということを、子どもたちはすでに学んでいる。このアンケートについても、そのように思うだろう。内容をよく吟味したうえで、家庭でのアンケート実施をお願いしたい。	アンケートの実施前には、アンケートの主旨を動画にて説明し、本計画に役立てるものであることを理解してもらいます。アンケートの手法については、教育委員会との協議を終えて決定していますので、ご理解とご協力をお願いします。
4	中学校	学校でこのアンケートをすると、生徒は学校がしていると勘違いしてしまう恐れがある。学校は、あくまで「彦根市子ども・若者プラン」策定のために協力するという形が望ましい。そこで、 ②■プレットを持ち帰り、家で回答させる。（9月の週末も可） ②帰りの会の短学活で実施する。（あくまでも授業での実施は避けたい。また、年間総授業数の達成に向けて1時間であってもアンケートでなく授業がしたいため。）	事務分掌条例の規定に基づき、子ども・若者課が所管するのですが、本計画はじめ本市の様々な計画は、関係所属が一体となって作っていくものです。つきましては、本計画においても同様であり、本アンケートも市立学校と一緒に実施していくものであることをご理解ください。また、年間授業総数の達成等学校現場の状況が大変であることは重々承知していますが、アンケートの手法については、教育委員会（教育長含む）と協議済みであることをご理解ください。

No.	意見元（委員・学校）	意見内容	事務局対応
5	小学校	本当に困っている子どもを把握し、具体的な支援をしていくためのアンケートなら理解できますが、傾向をつかむだけのものならば、緊急の対応が予想される設問は避けるべきだと考えます。万が一、子どもがヘルプを伝えてきたときに、具体的にどう対応するつもりなのでしょうか。命にかかわることならば、尚更のことです。アンケートには、明確な意図と責任（後の対応）が伴うのではないかと感じています。	本計画は、具体的支援に繋げるための計画です。緊急性を要する回答については共有させていただきますのでご理解ください。学校でされているアンケートと違い、計画策定に必要とするデータを集めるためのものであることを十分理解してもらってから実施したいと考えています。また、アンケートの手法については、教育委員会との協議により決めさせていただきましたので、ご理解ください。
6	小学校	子どもたちに不安や不満に感じていることを問うことによって、かえって不安等が強く意識化され、より否定的な感情が高まる危険性があるため、何のために本アンケートを実施するのかを十分検討していただき、子どもたちの今後に役立つものとしていただきたい。 また、「学校について」の設問では、教育内容や生徒指導面だけに偏るのではなく、学校設備等の幅広い要素を取り入れることが、広く子どもたちの声を反映させることにつながるのではないかと考える。	アンケートの実施前には、アンケートの主旨を動画にて説明し、本計画に役立てるものであることを理解してもらいます。アンケートの手法については、教育委員会との協議を終えて決定していますので、ご理解とご協力をお願いします。 また、学校についての設問では、ご指摘いただいたとおり、設備面についての選択肢も追加させていただきました。
7	小学校	タブレットで回答すれば、どこの学校のどの子か回答しているか特定できるのではないか。そうすると学校別に集計できるのでは・・・。家庭でスマホから回答できるようにすればよい。	回答者については特定できない仕様になっております。アンケートの手法については、教育委員会（教育長含む）と協議済みであることをご理解ください。
8	小学校	学校の教員がアンケート内容に一切触れなくてもいい説明動画にしていただきたい。	事務分掌条例の規定に基づき、子ども・若者課が所管するのですが、本計画はじめ本市の様々な計画は、関係所属が一体となって作っていくものです。つきましては、本計画においても同様であり、本アンケートも市立学校と一緒に実施していくものであることをご理解ください。
9	小学校	一人一人の具体的な回答に対して、アンケートの実施主体が個別に対応できないのだったら、「これはアンケートであり、この回答に基づく個別の対応はできません」と明記できないのか。	説明動画およびアンケートの中身においても、個別対応できない文言を明示しました。
10	小学校	全体的に「不満」を引き出すことを打ち出したような問い合わせ方であるように感じる。「言いたいこと」「不満」を前提とした問い合わせであり自由記述は必要なのか。アンケートに答えることで、子どもたちにどんなメリットがあるのか疑問？具体的に何が返されるのか？	本計画では、「不安」や「不満」を取り除き、「安心」かつ「子ども達の心が満たされる」まちづくりを目指します。そのため、現状不満に感じること等を聞く内容が含まれることについてご理解ください。

No.	意見元（委員・学校）	意見内容	事務局対応
11	小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートを学校の教育課程の中で実施することには、賛成できない。他にも様々なアンケートへの依頼がありすぎて、学校現場としては困惑している。学校で実施する以上、学校からのアンケートになる。子どもたちの回答内容（いじめ・死にたい等）について学校が責任を持てない。子ども・若者課が責任をもって対応いただけるのか。保護者からの質問や問い合わせに答えられない。 ・家庭の経済的状況や習い事等、アンケートに答えることで、自尊感情が傷つく子もいる。人権的な配慮に欠けると感じる。 ・タブレットは、あくまでも学校で使う学習道具（ツール）の一つであり、アンケートをとるためにものではない。 	事務分掌条例の規定に基づき、子ども・若者課が所管するものですが、本計画はじめ本市の様々な計画は、教育委員会を含めた関係所属が一体となって作っていくものです。つきましては、本計画においても同様であり、本アンケートも市立学校と一緒に実施していくものであることをご理解ください。なお、教育基本法に基づく「教育振興基本計画」においては、本計画の策定の基となる「こども基本法」に規定されたこどもの意見表明などを踏まえた対応の必要性が明記されているところです。また、アンケートの手法については、教育委員会（教育長含む）と協議済みであることをご理解ください。
12	小学校	「B あなたの家庭について」では、家庭の経済力などかなり踏み込んで質問しているが、市は保護者の了解を得る（了解を得てしまうと現状を答えられないかもしれない）のか。了解なしでアンケートを実施して、のちに保護者からのクレームがあった場合、授業時間に学校のタブレットを使ってアンケートをしている以上、学校の責任は逃れられないという危機感を持っている。	保護者に対し、アンケートの実施はおよびアンケートの内容について周知します。また、実施に係る問い合わせ先を必ず明記します。
13	小学校	例えば「自分は消えてしまいたい」というような書き込みがあった際、その対応が学校現場に戻されることがないように願いたい。（学校では、独自アンケートとともに道徳や学級活動、全員の個別面談を総合的に実施することで個別案件に丁寧に対応している。）	アンケートの内容は、本計画の策定および今後の子ども施策への反映にのみ活用するのですが、具体的な名前や学校が記載され、緊急に対応を要すると思われる内容が確認できた場合は、すぐに教育委員会と情報共有する等の対応をさせていただきます。
14	小学校	子供が真摯にアンケートに答えたことが施策に反映されるのか疑問である。「子ども・若者プラン」策定のためのデータ収集のみに使われるのであれば、もっと簡素なアンケートにできなものか。	<p>「こども基本法」では、本計画などのこども施策の策定等において、子どもの意見を反映させることが義務化されています。そこで今回、子どもの意見聴取・施策への反映を行う目的でアンケート調査を実施するに至っていますので、ご理解ください。</p> <p>アンケートの内容は、本計画の策定に活用するため、勿論施策に反映されるものとなります。</p>
15	小学校	学校名・担任名・個人名を批判する記述があった場合、「子ども・若者プラン」でどのように扱われるのか。	本計画策定に不要な内容は活用しません。
16	小学校	第1ページ目に「アンケートについて・・・お問い合わせください。」とあるが、授業時間に実施するのであれば、誰がいつ問い合わせをするのか。	授業時間中に回答が終わらない場合や空き時間等にゆっくり入力したい場合等を想定しています。

No.	意見元（委員・学校）	意見内容	事務局対応
17	小学校	<p>休日に家庭で実施していただきたいと思います。（理由 ①このボリュームの質問項目を学校で実施する時間がない ②答えたくない児童がいる場合もあるため一斉実施は難しい ③学校で実施中に子ども若者課に電話で聞くことは現実的でない（わからないことなどの対応は教師がすることになる））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「満足しているか」「不安や不満」といった文言は、子どもの場合はその時の気分（例えば叱られた後なら不満大）が影響すると感じました。 	アンケートの手法については、教育委員会と協議をし決めておりますので、ご理解ください。
18	中学校	<p>「B 問3と問4」「C 問2と問3」「D 問2と問3」の選択肢が連動していないことに加え、不安・不満を選択する項目が多く、このアンケートは、マイナス面に意識が誘導されていくのではないかでしょうか。自由記述もその方向に引き込まれることを危惧します。</p> <p>このアンケートを学校で行うことはやめ、タブレットを持ち帰り、各家庭で実施するよう望みます。このことにより、他の児童生徒の回答を見る（見えてしまう）リスクが回避でき、自由記述も書き込んでいることを周囲に知られることなく安心して記述できると考えます。</p>	アンケートの手法については、教育委員会（教育長含む）と協議済みであることをご理解ください。
19	小学校	学校で回答する時間を設定するとお聞きしましたが、大きな悩みを抱えている子どもは、書いてもいいのか、どう書けばいいのか、迷いも大きく、たとえ1時間を設定したとしても時間内にはできないと思います。こちらが答え方を工夫したとしても周りの目も気になってしまふのではないかでしょうか。	お気持ちは重々理解しておりますが、アンケートの手法については、教育委員会（教育長含む）と協議済みであることをご理解ください。
20	小学校	不満や不安を書いた後に、思っていることを書くことになっています。これでは不安や不満を書くようになり、一層不安感を拡大させたり、自己肯定感や自尊感情を損なうことにつながらないでしょうか。	本計画を策定するに当たっては、全国の自治体でも同様の質問を実施されています。お考えは十分理解しておりますが、アンケートの主旨をご理解くださいますようお願いします。
21	小学校	複雑な家庭環境にある子たちが一定数いる状況の中、学校で家庭の満足感を聞くことに抵抗を感じます。自分の家庭に不満や引け目を感じている子にとっては、辛い時間となるのではないかと心配します。	お気持ちは重々理解しておりますが、全国の自治体でも同様の質問を実施されています。アンケートの手法については、教育委員会（教育長含む）と協議済みであることをご理解ください。
22	小学校	小学生段階ではアンケートの主体、内容等の説明があっても、学校での実施となると、子どもは学校で日々行っているテストやアンケートと思ってしまう。個人、家庭の状況、思いをかなり詳しく聞かれ、答えたのに、先生にほっておかれたと思う子どもが多くなると思われる。休みはタブレットを持ち帰っているので、家庭での実施が望ましい。回答を拒む子どもがいてもいいと思う。	子ども達がアンケートの主旨など、十分理解してもらえるよう動画にて説明を行います。他市町においても、学校で実施されている事例はありますが、心配されているような状況は報告されていません。

No.	意見元（委員・学校）	意見内容	事務局対応
23	小学校	学校では、家庭環境や個別事案の内容は、個別アンケートや個別面談で丁寧に聞き取りをし、素早い対応を心がけている。重大な事案の書き込みがあった場合、適切な対応ができるのか心配である。	匿名であるため、誰が回答したかは分からぬですが、具体的な名前や学校が記載され、緊急に対応を要すると思われる内容が確認できた場合は、すぐに教育委員会と情報共有する等の対応をさせていただきます。
24	小学校	この形態では、学校での対応は難しい。 学校では子どもや保護者へのアンケートは簡素なA4一枚程度で行っている。 ・形態、内容、実施時期を再検討されはどうか。	アンケートの手法については、教育委員会（教育長含む）と協議済みであることをご理解ください。
25	中学校	学校で実施すると学校も承知したうえで実施したことになるため、この調査については各家庭で実施するに 대해서はございません。 9月実施であれば、どこかの土・日に一斉にタブレットを持ち帰らせて調査を実施することは十分に可能であると思われる。 あくまでも学校を通しての実施の形ではなく、彦根市として子ども若者課が主催している調査であることを明確にするためにも、 各家庭で児童生徒個人が実施する形をお願いしたい。 さらに、この調査は彦根市子ども若者プラン策定のためだけのもので、ほかの用途で使用されるものではないことを明記いただきたい。	事務分掌条例の規定に基づき、子ども・若者課が所管するのですが、本計画はじめ本市の様々な計画は、教育委員会を含めた関係所属が一体となって作っていくものです。つきましては、本計画においても同様であり、本アンケートも市立学校と一緒に実施していくものであることをご理解ください。また、アンケートの手法については、教育委員会（教育長含む）と協議済みであることをご理解ください。